

# みはま 市民ネットワークみはま まちづくり通信

2023 年夏 NO.112

編集・発行 市民ネットワークみはま

◎事務所

千葉市美浜区高洲3丁目20-45 細矢ビル403号室

TEL/FAX 043-278-5005

E-mail mihama@chibanet.jp

配布地域 美浜区 配布部数：35000部



## まちかど保健室

心をつなぐ優しい街づくり

毎月10日開きます

お気軽に覗いてみてください

2023年4月の選挙で、生活の身近なことや自分のことを気軽に話せる場として「まちかど保健室」を開設しますと語っていたことを実現しました。

「社会と繋がりたい、自分の思いを誰かと共感したい。でも、どこに行けばいいのか分からない」そのような人たちが、ちょっと寄れる場所を作りたい。自分と他の人が違っていても気にしないでいい。話しかけてもかかなくてもそこにいてもいいんだと思える。そう感じられる場所にしていきたいと思えます。

「まちかど保健室」は今年6月からスタートし、毎月10日（土日休含む）に開催しています。ここに集う生活環境の全く異なる人と知り合いになることで、自分とは違う目線で物事を見ることができ、得られる情報も多くなっていきます。その中には、自分では到底解決できないと思っていた問題の打開策があるかもしれません。

将来は、このネットワークをさらに広げ、一人でも多くの方が、心に余裕を持つことができ、優しさが伝わっていればと夢を膨らませています。

黒澤和泉



思い思いにおしゃべりを楽しみました

7月開催のチラシ

## 「みんなの保健室」(草加市)のお話を聞きました

草加市の服部満喜子さんが『みんなの保健室』と名づけた居場所を開いていると聞いたのは4年ほど前です。その活動を知るにつけて、美浜区でもこういう場所を作りたいなあ、と思って来ました。



「みんなの保健室」フェイスブックから

その服部さんに Zoom で現在の活動や今後の展開について聞きました。元々は看護師をリタイヤした仲間から始めた。現在活動場所は3カ所。

- ①コーヒーショップツネ・・・身近な衣食住や医療、福祉、介護などの講演会、参加者企画の季節のパーティーや歌声喫茶。
- ②市民活動センター・・・笑いヨガやトレーナーの身体作り教室など、健康作りに活動。
- ③「さかえーる」・・・専門知識を持つスタッフが「脳トレ」「読み聞かせ」「ポールウォーキング」「体力測定」など。

これらの場所を週に1回～月に1回借りて活動してきたが、この秋からは自分たちの専用の場所を借りて行うという事で、初めてクラウドファンディングに挑戦（結果は目標金額100万円を超えて現在リニューアル工事实施中）出来上がったなら毎日オープンして誰でもいつでも来てもらえる場所にしたいと考えているそうです。商工会議所とコラボした起業講座も始めるとの事で可能性が広がっています。

みはまネットでは黒澤さんの公約として掲げた『まちかど保健室』第1号を始めました。実績を重ねて、地域ごとにまちかど保健室ができてくるといいなあと思っています。

岩橋（磯辺）

## 児童相談所にパンを届けるプロジェクト

千葉市の児童相談所はみはまネットの事務所と同じ区内に設置されています。所内の一時保護所には、親の病気や死別、また虐待を受け家庭で過ごすことのできない子どもたちが一時的に保護されています。通学も外出も買い物などもできず、窮屈な生活をしている子どもたちに少しでも楽しい時間を持って欲しいと思い、2020年秋から「児童相談所にパンを届けるプロジェクト」を始めました。

月1回、パンを届けても子どもたちに会うことはできませんが、「クリの入ったパンがおいしかった」「おいしい贈り物をありがとうございました」「今度はメロンパンが食べたいです」などと書かれた手紙や手作りの飾りなど、心のこもったお礼をいただくことがあり、私たちが優しい気持ちにさせてくれます。



メッセージをつけて職員の方にお渡ししました

そして、この夏も昨年に引き続き「夏のプレゼント」として児童相談所の職員の方に相談し、勉強やお絵描きを使うノートとデザートのゼリーを届けました。

寄付というカタチで協力していただいている皆さんのおかげです。感謝しつつ、会うことのできない子ども達の笑顔を思い浮かべながら月1回のプレゼントを、心を込めて届けています。

関根（幸町）

みなさんの寄付で継続することができます

◎郵便振替

00170-7-180047

市民ネットワークちば みはま事務所

・パンプロジェクト寄付と明記ください。

・振込手数料はご負担ください。

◎事務所に持参

平日10時から16時まで開所しています。

みはま情報メールに登録を！

mihama@chibanet.jp

みはまネットのイベントや、市議会や、千葉市のパブコメ情報、県や国の動きでお伝えしたいことを、不定期でメール発信しています。配信は無料です。タイムリーな情報を受け取ることができますので、ぜひメールアドレスを登録してください。

## 戦争の話をお聞かせください

地域から平和をつくるために、体験談を聞き取りしています。

15

幕張西在住 1939年(昭和14年)生まれ 女性

サイレンが鳴ると、天井からつり下がった電気の傘に黒い布がかけられた。当時はその意味がわからなかった。「どうしてこんなことをするのか？」と聞くこともなかった。とにかく、(空襲警報の)サイレンと(焼夷弾を落とす)飛行機の音に恐怖を感じた。

空襲がひどくなり、富山の田舎に母、妹と一緒に疎開した。1945年の8月、富山の市街地の方角をみたら、空が真っ赤になっていた。空襲で街が焼かれてしまった。8月15日に玉音放送を聞いたが、当時6歳の自分には意味がわからなかった。ただその状況にいただけだった。

高齢になっても、当時の恐ろしい記憶は残っている。戦争のことを知っている世代、話せる世代は、次の世代に思いを伝えていかなければならない。

聞き手 松井（打瀬）

今まで23人の方から話を聞きました

「戦争の話をお聞かせ下さい」は今年7月で9年目を迎えます。

この間、途切れることなくご連絡を頂き、お話を伺うことができました。

1人ひとりの語りは、美浜区民が体験した事実であり、忘れることができない記憶です。戦争は長年にわたり本人・家族に大きな苦しみをもたらします。私たちはこの事実や記憶を受け止め、次世代に語り継ぐ責務があります。引き続き、お話頂ける方を募集します。曖昧な記憶でも、家族から聞いた話でも構いません。

みはまネット事務所までご連絡ください 043-278-5005

## まちかど保健室

毎月10日

10:30～16:00(土日祝も含む)

誰かとおしゃべりしたい  
市政についての相談をしたい  
暮らしのお困りごと聞いてもらいたい  
--- お待ちしています ---